

あかまつ

豊岡小学校

校長室だより NO.39

R2.10.27

豊岡小学校 閉校式

10月25日(日)午前、閉校式を行いました。この日に向けて、千葉実行委員長さんを先頭に、何度も話し合いを重ね、また、各部の部長さんが先になって、様々な準備をしてくださいました。前日の土曜日も、当日の朝も、多くの方々がそれぞれの担当の所で仕事に取り組んでくれました。午前10時。閉校式が始まりました。最初に「国歌」「大仙市民の歌」を歌いましたが、感染症対策のため、曲と歌の入ったCDを流し、口ずさむ程度の声の大きさを歌いました(子どもたちには、「口ずさむ」とはどの程度の声の大きさなのかを説明し、予行で練習しました)。



【静かに開始を待ちます】

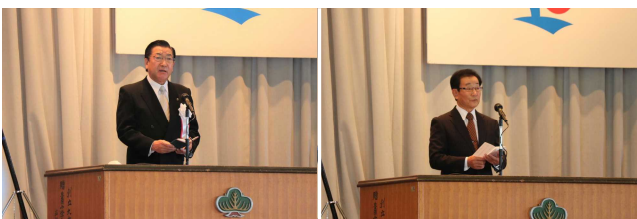
【始まりました】



【「国歌」「大仙市民の歌」斉唱】

次に、老松市長さんから式辞があり、本校の歴史と伝統をたたえ、子どもたちの学習面・運動面・文化面での活躍は、保護者や地域の皆さんの支援の賜であること。ふるさとを思いやり、感謝する心を忘れず、今後も、仲良くたくましく育ててほしい旨のお話をしてくださいました。

校長あいさつの次に、閉校記念事業実行委員長の千葉さんからのあいさつがあり、コロナウイ



【老松市長 式辞】

【千葉さん あいさつ】

ルスの影響で日常が失われ、三密を避ける生活が続いている。この校舎が今後、どのように変ぼうしていくのか気がかりであるが、2020年を乗り越えた自信を胸に、感謝の気持ちを忘れないで、これからの人生で大きく飛躍してほしい旨のお話をしてくださいました。

次は、6年 井上 さんのあいさつです。さんは、原稿を見ないで、閉校を迎える年の6年生としての心構え、豊岡小学校のよさなど、自分の思いを素直に語ってくれました。そして、豊岡小学校のよさが、豊成小学校でも大切に受け継がれてほしいと述べてくれました。発表の態度も、声も、あいさつの内容も、堂々として、とても立派でした。まさに、全校の皆さんに、目標にしてほしい姿でした。



【さん あいさつ】

【校旗返納】

次に「郷土をたたえる歌」を歌い、最後に、校長と児童代表6年 高橋 さんとで、校旗を市長さんに返納しました。

ここまで30分ぐらいの式でしたが、式の途中で教育長さんから「子どもたち立派だな!」とお褒めの言葉をいただきました。それほど、体や足を動かしたり、違う場所を見たりしている子どもが少なく、立派な姿勢で、最後まで座っていることができたのは、素晴らしい成長だと思います。立派な子どもたちです!がんばりました!

感謝状 贈呈式

閉校式終了後、すぐに「感謝状贈呈式」を行いました。創立130周年記念行事以降のお二人の校長先生(佐々木 校長先生、竹村 校長先生)と田口 さん、高橋 さんに感謝状が贈られました。ここからは、実行委員会記念式典部の皆さんの司会・運営で会が進められました。

佐々木 校長先生が本校の校長先生の時に、東日本大震災が起こり、被災して間もない岩手県陸前高田市の気仙小学校に学校田のお米を送るなど、

交流事業を行っていたことなどが紹介されました。

竹村 校長先生の時には、豊成中学校との連携を深めたり、ふるさと教育を充実させたりして、地域の方々との交流が深まったことなどが紹介されました。

田口 さんは、学校田での活動にいつも参加してくださり、また、シイタケの収穫体験をさせてくれたり、毎年、七夕の日に笹竹をプレゼントしてくれたりしていることが紹介されました。

高橋 さんは、平成13年に、本校のために液晶プロジェクターやスクリーン、児童図書を寄贈してくれたことから始まり、毎年、多額の寄付をしてくださっていることが紹介されました。

なお、高橋 さんは、北海道在住であり、感染予防のために、今回はお招きしませんでした。後ほど、学校田でとれたお米や、閉校式の様子、子どもたちの学校生活の様子、子どもたちのお礼の手紙等と一緒に、自宅にお贈りする予定です。



【感謝状贈呈式の様子】

記念碑 除幕式

子どもたちは、閉校記念式典が終わり、教室で帰りの会を行ってから、前庭に集まり、除幕式に参加しました。

最初に、実行委員会総務部長の高橋 さんのあいさつがありました。記念碑の土台は、総務部みんなで苦勞して作ったこと。地域の事業所からもたくさんのご協力をいただいたこと。特に、記念碑を制作してくれた佐藤石材さん(太田町齊内)には多大なご協力をいただいたこと、などが紹介されました。



【間もなく除幕式】

【 さんのあいさつ】



【いよいよ除幕です】

そして、いよいよ除幕式です。大仙市長さん、記念碑の題字「豊岡小学校」を書いてくださった小山 さん、5年 佐藤 さん、3年 渡部 さん、1年 高橋 さんが向かって右側の綱。実行委員長 千葉 さん(第13代PTA会長)、実行副委員長 高貝 さん(第12代PTA会長)、6年 田口 さん、4年 加藤 さん、2年 藤澤 さんが左側の綱を、全員で行ったカウントダウンに合わせて引きました。自分の顔が写るほどピカピカの石碑に、子どもたちも感動していました。

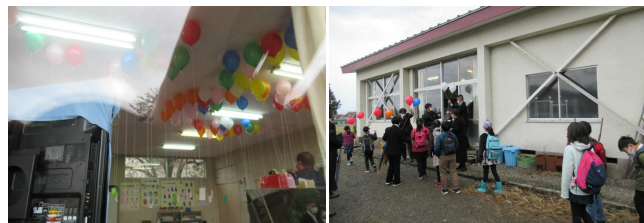
バルーンリリース

除幕式後、最後の行事、バルーンリリースがグラウンドで行われました。

朝早くから、記念行事部の皆さんが音楽室に集まり、風船にヘリウムガスを入れて準備をしてくれました。また、風船の糸の先には、子どもたちが事前に行った「豊岡小学校への感謝の言葉」と「自分の将来の夢」の紙が付けられていました。

「豊岡の夢を、希望の大地へ」というタイトルの下、140周年記念も兼ねて、児童一人が2個のバルーン(70人×2個)を持って、グラウンドに円形に並びました。

実行委員会記念行事部長の熊谷 さんのあいさつ後、6年 藤澤 さんが思いを述べ、現PTA会長 藤田 さんのカウントダウンに合わせて、一斉に風船を空に離しました。



【音楽室の天井】

【一人に2個の風船】



【 さんのあいさつ】

【 さんから一言】



【風船を空へ 見えなくなるまで見ていました】

この日、天候には恵まれませんでしたが、除幕式もバルーンリリースも雨に降られずに行うことができ、幸いでした。いい思い出が残りました!